



健康と温泉フォーラム 第43回月例研究会のご案内

■ 主催 NPO法人健康と温泉フォーラム 地域活性学会

■ 日時 2014年3月10日(月)13:30~16:30(受付 13:00 から)

■ 会場 上野・東京文化会館4F 中会議室2(定員30名)

東京都台東区上野公園5-45 TEL03-3828-2111 JR 上野駅公園口出て正面すぐです。

■テーマ「欧州スパの現状を踏まえた日本の温泉インバウンド調査の研究交流」

日本政策投資銀行の関連組織である、株式会社日本経済研究所は下記の調査*を昨年から実施している。フォーラムにも支援の要請があり、今回この調査の担当研究員から調査の背景やいままでの成果を発表いただき、その内容をベースに温泉関連組織や、多様な専門家の出席するフォーラムの月例研究会に於いて、より広い分野の視点と目的にあった、現実的な課題の検討を通して、有力なコンテンツである日本の温泉の来るべきインバウンド事業振興策を検証する。

*「欧州スパの現状を踏まえた日本の温泉インバウンド調査」資料

1. 調査の背景

単なる疾病予防にとどまらず、生きがいや生活の質の向上など、ヘルスプロモーションをより重視した観光-ウェルネスツーリズム-特に、温泉等温浴施設を活用するタイプのウェルネスツーリズムの人气が高まっている昨今、わが国でも海外からの観光客の間で温泉の人气が高まっている。また、風呂の入り方や健康面での効能、食事のメニューの多言語表記を作成する、これらの情報をウェブ等で発信する等、国や自治体による様々なインバウンド観光促進策が展開されているなかで、温泉地への訪日外国人の誘客を増やす方策の一つとして、欧州の温浴施設(スパ)において、定期的を実施されており、利用客にとっての安心・わかりやすさを示せる、施設のハード・ソフト面を評価する認証制度を活用することが考えられる。

2. 調査目的

上記背景を踏まえ、本調査では、温浴を活用したウェルネスツーリズムがさかんな欧州のスパに関する情報(市場規模、提供サービスの種類、顧客の属性、地域や施設が実施する様々な取り組み等)を整理した上で、日本の温泉地へのインバウンド観光客を増やすための方策を検討する。

3. 月例会参加の皆様へのお願い事項

本調査では、日本の温泉地へのインバウンド観光客を増やす具体的な方策の一例として、「認証制度」に着目しておりますが、いかなる活用が考えられるのか、あるいは活用は難しいのか等、当該制度の活用可能性について、また認証制度以外の方策等につきまして、専門的なご意見を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。



■ プログラム

1300 受付

1330 コーディネーター・背景説明

1340 **研究発表—株式会社日本経済研究所国際本部研究員**

1450 休憩

1500 **オープンディスカッション**

1630 終了

- 参加費 健康と温泉フォーラム・日本スパ振興協会・地域活性学会会員 2000 円
一般の方 3000 円
報道関係者・学生 無料

(当日会場受付で承ります)

■ お申し込み・お問い合わせ

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局までE-mail またはFAXにてお申し込み下さい。定員先着順**30**名とさせていただきます。お早めにお申し込みください。

E-mail info@onsen-forum.jp TEL&FAX 03-6804-8575

NPO 法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書 第43回月例会(2014年3月10日(月))に出席します。

● お名前
(複数可)

.....
● 団体名

.....
● 住所

.....
● TEL

● FAX

● E-mail